

浮間地区教育環境整備協議会（会議の概要）

浮間地区教育環境整備協議会（第1回）

■平成15年8月19日

■浮間区民センター

■次第■

1. あいさつ
2. 学校適正規模等審議会答申報告
3. （仮称）ブロック協議会の基本的な考え方
4. （仮称）ブロック協議会設置要綱について
5. 座長選出
6. 意見交換

浮間地区教育環境整備協議会（第2回）

■平成15年9月24日

■浮間区民センター

■次第■

1. あいさつ
2. 第1回協議会の確認
3. 課題解決に向けての提案
4. 次回日程

■発言要旨■

○通学区域の変更について

- 線引きを見直すだけでは長期的解決にならない。かえって混乱を招くこともある。慎重に考えた方がいいのではないか。
- 通学区域を毎年変えるようなことがあってはならない。

○ 西浮間小学校の提案について

- 1)現状で使いづらい、2)将来児童数増加、の二つの要素があるということ。
- 西浮間小学校の問題は緊急を要する。とても2年間待ってられない。
- 西浮間小学校だけでなく、浮間全体のことを考えなければならない。
- 区内の小学校校舎では、築後46年のなでしこ小学校がもっとも古く、築後45年が西浮間小学校、荒川小学校、滝野川第五小学校の3校、改築でもおかしくない。

○ 浮間中学校の提案について

- 西浮間小学校の問題が緊急を要するが、西浮間小学校の児童数が増えるということは、数年後に浮間中学校の生徒数が増えるということ。浮間中学校も満杯になる。5～10年後に厳しい状況になる。
- 西浮間小学校の後に浮間中学校に着手したのでは大変、一斉に立て替えを。

○ 浮間小学校の提案について

- 浮間全体の計画を考えて同時進行ですぐ対応すべき問題課題に対応しないと、西浮間小学校とその他の学校の較差が問題になるのでは？
- 全体計画が示されないと、保護者が動揺するのではないか。

○全体を通して

- しっかりした全体像を急いでまとめたい。西浮間小学校の問題は急ぐものであり、早めに出した方がよい。
- 西浮間小学校、浮間中学校を改築し、後に浮間小を整備、その後の状況で進行を視野に、ということで良いのか？
- 教育委員会は、この「まとめ」に拘束されるのか、それとも要望なのか？（→事務局：地域の意向を集約したものが「まとめ」であると考えている。ここでの議論やご意見は担当部署に伝えるとともに、担当部署の考え方、方向などを皆さんにお伝えするというフィードバックを繰り返して地域の意向・要望ができる限り行政計画に反映するものになるよう、努めたい。）
- 「まとめ」文書の原案を3校で作って、みんなで考える、西浮間小学校で原文を作ることは？ 建て替えばかりではなく浮間全体の計画を。
- 浮間は他の地区と違い、中学校1つに小学校2つでまとまっている。学校ファミリーを機能的に取り込んでいきたい。
- ハードとソフトではどちらを先行させるのか？ ハードからソフトを考えると、内容が限られる。普通、ソフトからハードが決まるのではないか。
- 最先端の小学校についてデータ提供をお願いしたい。

浮間地区教育環境整備協議会(第3回)

■平成15年11月10日

■浮間区民センター

■次第■

1. あいさつ
2. 「中間のまとめ」に向けて
 1. 緊急を要する課題
 2. 中長期的な課題
 3. 浮間地区全体に関わる教育環境整備

■発言要旨■

◎「中間のまとめ」に向けて

1. 緊急を要する課題について
 - ・ 浮間中が移転し、西浮間小が跡地に移転するのは疑問を感じる。
 - ・ 小学校と中学校では建物の基準が違うのではないか？(→事務局回答:基準上は問題ないが、流し台・トイレの高さなどは変える必要があるかもしれない。なお、両校とも窓の高さは同じ。)
 - ・ 浮間中に移転となると、校庭が狭くなるのではないか。
 - ・ 浮間中移転の具体地はあるのか？(→事務局回答:今までの話の中では、少年野球場・遊び場が挙げられている。)
 - ・ 現在の西浮間小・浮間中の一体性を失いたくない。
 - ・ 中学校の校舎が新しくなるのは魅力だが、校庭が狭くなるのでは賛成できない。
 - ・ 少年野球場・遊び場に仮校舎を造り、現在地で改築をしてはどうか。
 - ・ 例えば2年後に改築できるのであれば、暫定的に学区域を変える案も捨てきれないものがある。
 - ・ 西浮間小は築45年で、改築が必要。学区域の問題ではないのではないか。
 - ・ 学区域変更については前回、かえって混乱を招きかねないことから見送りの方向でまとまったのでむしかえさない。
 - ・ 1)西浮間小改築→浮間中改築→浮間小改修 2)西浮間小・浮間中合築→浮間小改修 の2パターンを明示する。
 - ・ 西浮間小移転、浮間中を移転し跡地に西浮間小移転 の案は削除とする。
 - ・ 改築の代替地として少年野球場・遊び場を例示する。
2. 中長期的な課題について
 - ・ 浮間小について、西浮間小が改築した場合、バランスを保つために設備改修を。
 - ・ 趣旨はレジュメどおりで良いが、もう少し内容を書き込んでほしい。

3. 浮間地区全体に関わる教育環境整備について

0. 地域と学校の連携

- 学校、町会・自治会、青少年地区委員会が三位一体で取り組みをする必要がある。
- 子どもひまわり110番や3校PTAパトロールなどPTAは連携しつつあり、町会・自治会や地区委員会は、こうした事件事務防止活動のバックアップをして欲しい。

1. 公共施設の課題

- 図書館、児童館が地理的に偏っていることから、利用する児童も偏りがある。
- 図書館は蔵書の充実を図るべき。

◎上記意見を踏まえ、「中間のまとめ」案文を事務局で作成のうえ、委員に諮ることとした。

浮間地区教育環境整備協議会(第4回)

■平成16年2月13日

■浮間区民センター

■次第■

1. あいさつ
2. 第3回協議会のまとめ
3. 「中間のまとめ」(案)について
4. その他

■発言要旨■

◎ 前回のまとめについて

事務局より説明し、了承された。

◎ 「中間のまとめ」に向けて

1. 「緊急を要する施設整備」について

- 西浮間小の校地拡張が出来ないものか。西浮間小の校庭・体育館・プールの体育施設の向上、これは子どもの体位向上のため大切な施設だ。縮小・悪化しないような方策を図

りたい。教室に目がいって、校庭が狭くなる懸念がある。例えば校舎を3階建から4階建に出来ないものか。

- 体育は場所も必要になる。教室だけでなく、その辺も見るという視点を。
- 西浮間小の校庭スペースは厳しいものがある。400～500人が一斉に遊ぶとなると、走れる状況ではない。
- (事務局発言) 小学校の4階建は問題ない。問題があるとしたら、日影規制などの都市計画上の問題があるかもしれない。
- 1階が体育館で2階がプールという施設があるが、そういう工夫ができないか。校庭が現状より狭くなったら問題だ。また児童数が増えて、校庭が狭くなるのも問題だ。
- 校舎を4階にして体育館・プール合築とか、校地の拡張も話題として挙げてはどうか。
- (事務局発言) 「要望を設計に取り入れていくことを望む」とは書いているが、校庭を広くとる工夫をすべきという趣旨を書き加えたい。西側への校地拡張は不可能である。

2. 「その他の教育環境整備」について

1) 地域と学校の連携

- 公共施設は浮間地区の東側に偏りがある、西側には少ない。この偏りを何とかしたい。
- 児童館・図書館とも、建物自体が目につきにくい。特に図書館は、目につきやすいところがいい。看板か何かで目に付くようにして欲しい。
- (事務局発言) 図書館へ場所がわかりにくいとは伝える。コミュニティ道路の木が育ったのも影響していると思う。「蔵書の充実や、わかりやすい表示など、利用しやすい環境整備を望む。」と書き加えたい。
- 学校の図書室の本が少ないし、管理がしっかりされていないと感じる。図書の有効利用を図ってはどうか、蔵書を図書館に集中し、児童生徒みんなで図書館を利用してはどうか。
- 学校図書室は、学校の規模で蔵書数が決まっている。また、文部科学省基準もあり全てを図書館には集約できない。
- 浮間図書館を中心に、調べ学習をしている。浮間図書館で本を集めて、学校に届けてくれている。学校図書室でそういうシステムがあればいいが。
- 地域の図書館として運営されることが大切。
- 浮間図書館は、図書館ボランティアが活発で良いと思う。
- (事務局発言) 公共施設の偏在については、改築時にサテライト機能をとの趣旨を偏在そのものを解消する、という方向に変更するということによろしいか。学校も図書館も改築をということになるがよろしいか。
- 緊急性を要するものと、その他のもの、偏在しているものの解消を訴えるのは、希望として書くのはいいのではないか。
- 理想的な場所は、浮間区民センターの場所、ここは浮間の中央で、そうすれば問題は全て解決する。
- 地理的条件は大きな問題だ。図書館・児童館をもう少し西側に、という問題がある。

- 各校の学校便りを回覧板で見ると、結構ユニークな活動をしている。3校は学校ファミリーの模範になると思う。
- 意見を投げっぱなしではなくて、区側がどう扱ってくれるのかの回答期限を設けたい。
- (事務局発言)北区としては、16年度に学校改築計画をまとめる予定である。「まとめ」の中に回答期限を定められなくても、改築計画の策定段階で何らかの対処案が出てくる。平成16年度に予定されている学校改築計画を待っていただければ答えは出るものと考えている。

◎ 「中間のまとめ」(案)の修正点

- 「緊急を要する施設整備」中、(1)1の「改築工事にあたっては」のところに、校庭敷地の確保に努める旨を記載する。
- 「その他の教育環境整備」中、(2)公共施設の項に、図書館・児童館を使いやすい場所へ移設すること、浮間図書館の所在をわかりやすくする表示と、利用しやすい環境整備の検討について記載する。
- 区としての全体計画が出たときに、要望に対して答える旨を議事録に残しておく。
- 以上を踏まえ、座長と確認のうえ、中間のまとめを委員に送付する。

◎ 今後の活動について

- (事務局発言)これから北区全体の学校改築計画を策定して、改築・修繕の方向を出す。方向が出た段階で協議会を再開するということによいか。浮間地区、特に西浮間小の問題は緊急を要するので結論を急いだが、改築・合築はお金がかかる、北区全体の問題として検討しなければならない。平成16年度中に学校改築計画を策定する予定なので、この中に西浮間小の問題が織り込まれるよう努力したい。

◎ 協議会だよりの発行について

- 「中間のまとめ」について、協議会だよりを発行する。

浮間地区教育環境整備協議会(第5回)

■平成16年7月1日

■浮間区民センター

■次第■

1. あいさつ
2. 委員自己紹介
3. 第4回協議会のまとめ
4. 望ましい学校のあり方について
5. その他

■発言要旨■

- 事務局よりこの間の動きについて説明を。
- (事務局発言)「中間のまとめ」を受け、財政的に厳しい中で区長部局と調整をしてきた。どの学校も老朽化が進行し、改築の時期に来ている。教育環境整備協議会を区内7ブロック8カ所で進めているが、おおむね中学校を優先して協議している。その中で西浮間小学校の課題は重要なものにとらえている。ここで改めて「中間のまとめ」のとおり現地での改築が適切なのか、浮間地区全体としてどうなのかをお考え頂きたい。
- 中間のまとめでは、現状の場所で改築・増築をと示した。体育館を建て直して、2階を体育館、1階を教室、現在の校舎はそのままとするか、又は大きくなるという話ではないが少年運動場へ移転という考えもある。何10年先のことを考えて、どちらがいいかをこの場で検討したい。
- 当事者としては、教室不足と豊かな教育環境という観点から、地域のことを考え、建て替えを検討して頂きたい。今までの経過はあろうが、弊害もあろうかと思う。仮移転では引越しが2回になる。学校が遠くなる子、近くなる子はあるが、安易な体育館の建て替えではなく、速やかな建て替えを希望する。
- 教育活動の視点で子どもの姿を見ると、校舎の活用はギブアップの状態だ。間口の狭い昇降口が一つで、雨の日には入るまでに10分かかる。階段は3つあるが、よく使われる第2階段が狭い。第3階段は避難をするときには職員室を通らざるを得ない。女子トイレが少ないので、廊下で待っている状態だ。男子更衣室もないので、主事室を使っている。多様な学習では、廊下を使わざるをえない。夏暑くても、窓を開けると駅の音、新幹線の走行音が入ってくる。児童はこれからも増加傾向にあり、体育館の下に教室をつくるだけでは、解決しない。
- 現在の校舎がそのままでは問題ということか。
- 個人的には今の校地が不整形であること・駅前であること・道路の安全上の問題から、少年運動場の方がいいかと思う。ただ、45年間の場所が変わるとなると、地域の方がどう思うか。

- 新幹線通過問題と、下水処理場の問題では、20数年前に町会の応援を得て、色々な協議をした。当時の区幹部と議論し、地域の環境については区が責任を持つとしてきている。また、都営住宅の建て替え問題が起こり、長屋を整理して、空き地は子どもが増加するとして将来の学校用地としていた。学校用地として利用するなら話は進むのではないか。騒音・振動は当初から予想していた。下水処理場は出来上がって5～10年はそれほど臭気は出ないが、今はふたをして屋内で処理をしているが、落合処理場は早くにつくったので、ふたをしても臭ってくる。今の校舎をいじってもかえってお金がかさむのではないか。今の敷地は、大人の運動施設にでも利用してはどうか。中間のまとめでは、浮間中との合築も考えていたが、西浮間小の緊急の問題は行政でも早めに手を打って頂きたい。
- 隣の学校なので見に行くことがあるが、廊下で作業しているのを見ると、教育環境として良くないのではと思う。地図上では、真ん中に中学校があり、両端に小学校があるとバランスがいいのだが。西浮間小の環境整備が先かと思う。中学校はある程度の教室数があり、17学級までは対応できる。中学校優先の改築を進めるとのことだが、中学校が後になっても、新しい西浮間小が出来るといいと思う。
- どこかの学校が移らなければならないとすると、中学校が無理なのは明らか。この校庭の広さでは、中学生が走ってカーブが曲がりきれない。この土地の活用では西浮間小でやるべきだと思う。予算の手だてについての話はないが、改築資金として30～40億円を確保と聞いている。これでは1校のみしかできない。60校が次々に改築となったときに、どう考えても後の学校が何10年後になる。
- 統合校の跡地利用はどうなっているのか。北区全体を見て、跡地を利活用して捻出してもらえば良いと思う。「この地区に移ってきたけれど学校がすさんでいる」ではなく、「いい学校があるから浮間に来てください」というまちづくりをして頂きたい。
- 学校は、子どもの安全が大切だ。西浮間小の校舎は廊下が狭く、昇降口も狭い。よく事故が起きないと思う。将来的な具体的な数字を示して頂きたい。先立つものがなければ無理だが、移った方がいいのではないか。将来を見越した対策をお考え頂きたい。
- 浮間中に行けば一緒になるのだから、よくなれば良いと思う。
- 正直、昨年度の話は何だったのかと思う。昨年の方針に対する答か。
- (事務局発言) 心苦しいが、現地での建て替えは困難。
- 百歩譲って、移転したとして、いつ着工でいつ完成すると示せるのか。
- (事務局発言) 少年運動場の現況は区有地であり、利活用は比較的容易であると考えている。浮間地区としてプラスであり、地区の総意ならば、計画に反映させていきたい。移転となると、跡地の利活用も念頭に置くことになる。いつ着工するかについては、地区の方々の総意のうえ、超えなければならない課題、例えば近隣の皆さん、現在の利用者の皆さんの納得があれば、この協議会がどういう学校にしようという検討の場になる。
- 子どもの生活環境、騒音・下水の臭いは、少年運動場に移転すればクリアできる。西浮間小現校舎建て替えには少年運動場に仮校舎をと言ったが、仮でなくとも本校舎でも環境的には良い。現在舟渡から越境入学している子がいるが、その子が通いづらいというか、そういった問題が出てくる。いずれにしても環境的には少年運動場は今よりも良い。周囲の交通量もそれほど多くない。
- 学校が近くなる遠くなるはあるが、5丁目が遠くなる。

- 少年運動場の面積に道路は含んでいるのか。
- (事務局発言) 道路は含んでいない。6メートル幅の道路で、69メートルの長さがある。
- 現地よりやや広くなる。地型が良いというか、校庭は現在より広く、使いやすくなるだろう。通学距離は5丁目の橋から1100~1200メートルくらい、近くはないがまあまあではないか。この地域には他に空き地がないので、適地ではないか。教育委員会として、区長部局に要請を。今の西浮間小の部分改築では授業に差し支えが出る。一気にやるのが効率的だ。今の体育館はあのまま活用できるだろう。
- 現地での改築よりも新たな提案の方がベターという感じ。そちらの方に具体的な問題の話を進めたい。問題点・要望は次回に協議したい。そして、場所が変わるとなると、他の町会長に説明しなければならない。何かの機会に話したい。協議会として示した方が、力として良い、その線で進めたい。
- 最近、子どもの犯罪が多いが、子どもよりも親の問題の気がする。親の教育はどうするのかというのもある。幸い浮間にはないが、被害者や家族がかわいそうだ。
- 教育ビジョン改定に関するアンケートは、教育主体はどこかなど、内容が面白かった。
- あいさつは学校で身に付けさせるべき、という意見があって、意識が変わったと感じた。
- 低学年と高学年で傾向が違う。低学年は学校で、高学年は家で、という傾向を感じる。
- 親が成長しているということか。
- 各校には不登校の問題などはあるのか。
- 中学校にはある。原因は様々だが。
- 中2の子が罰ゲームを苦にして自殺するという事件があったが、あれはゲームと称したいじめではないか。これは遊び・ゲームだからと、価値観の違いを感じざるを得ない。
- 色々なことが起こるが、特殊なことではない。どこでも起こりうることだが、その中で自殺するというのが・・・
- 次から次へ課題が起こるという印象だ。
- 学校ではパソコンの使い方は教えているのか。
- ルールをどう教えていくか。機械は機械であり、人間づくりが後手に回っている。家庭、もしかしたら学校も気づいていない。大人同士のトラブルに周囲が静観する、そういう場面を見て、子どもが冷めていく。子育てをしていくのは、家庭・学校・地域でもある。ということを実際に考えたい。
- 土手の近くに住んでいるが、夏になると花火を上げて騒ぐ。ある日、土手の階段をハンマーでたたいている中学生がいたので、声をかけると、「ひびが入っているから壊れてもおかしくない」という。自然に壊れるのと、壊すのは違うと言ったら、何とも変な顔をした。公共の物と言うことをどう考えているのか。
- 1年生は90名を超えていて、区の非常勤講師が付いている。裏を返すと、人の話を聞く・席を立ち歩かないということが出来ない児童が多いということ。それが身に付いていれば、学力はもっと上がる。学校・家庭を含めて見直さないと、崩れる一方だ。学校は指導が悪いと責められる、きちんとしなければならない。
- 図書館の利用率とか、どういう本があるかとかはあると思うが、利用者の階層を知りたい。どういう人達が使っているか、大人の利用者が少ないのではないか。

- (事務局発言) 浮間は、子どもの利用率は高いが、大人は他地区と比べて低い傾向にある。次回資料を示したい。
- 今日の新しい考え方で議論を深めていく。機会を設けて自治会連合会に話をしなければいけない。問題を早く解決して、早くつくってもらいたい。各学校の要望は強いから簡単ではないが、しっかりとまとめていきたい。一緒に考えながらやっていきたい。
- (事務局発言) 新たな土地で新たな学校づくりをすることが望ましいということで、更に今後、どういったことが課題になるかお考え頂きたい。つくるにあたっての課題を、座長の言うとおり、浮間地区全体の要望となり、近隣の皆さんのご理解、現在の運動場利用者の皆さんのご理解、通学距離が遠くなること、それ以外の課題を挙げて頂きたい。そうしたうえで、どういった学校づくりを目指すか、次回から考えたい。

浮間地区教育環境整備協議会(第6回)

■平成16年8月17日

■浮間区民センター

■次第■

1. あいさつ
2. 第5回協議会のまとめ
3. 新しい学校づくりに向けて
4. 傍聴者からの意見
5. その他

■発言要旨■

- (事務局発言) 前回まで改めて浮間地区全体を視野に入れた検討して頂いた。新たな土地で新たな小学校を建設するという意見でまとまったが、これは浮間地区全体の意見として受け止めてよろしいのか。
- この協議会の大きな問題として、西浮間小学校の問題を浮間地区全体の問題として話をしてきたと思う。建て替えの問題について、具体的な話になってきた。前回の協議会では、現在地での建て替えよりも、浮間2丁目に新築するとして協議会の意見統一がされたと思う。浮間地区全体として、連合自治会で地域全体の要望として、各自治会長に説明し、快く了解を得て、要望書としてまとめて区長に提出した。その要望書を区長・助役・教育長に対して現状を説明した。浮間の現状は分かっているとのことだが、色々と段取りがあると思うので、新校舎の建設をと言ってきた。連合自治会も一緒に動いていきたいと考えている。西浮間小学校の問題以外にも、浮間全体の教育環境のことをこれから考えていきたい。

- (事務局発言) (「協議会のまとめを浮間地区全体の要望とするために」説明) 全体の教育環境の整備については、中間のまとめで触れられている点をあらためて説明・周知を図りたい。町会長の要望とは別に、次回くらいには今回の意見を踏まえて協議会の一定のまとめとして、協議会だよりを発行し、児童・生徒への配付、町会自治会へ回覧依頼、町会自治会長会・PTAへの報告を行いたい。北区ニュースへの掲載は、浮間地域の問題だけでは難しい。
- 説明会をきちんとしないとまずいだろう。連合町会長会議では早くしたほうがいいと言って快く受け入れてもらったが、まだまだ説明不足のところもあるかと思うので、説明に来てもらいたいと思っている。段取りをしっかりとやらないと、聞いていないとか、後で困るだろう。「要望とするために」6番の数値化とはどういう意味か？
- (事務局発言) 賛成・反対を数値化することかと思う。協議会・連合町会長会でまとまった以上、その方向で理解を求めることになるので、各PTAに賛成・反対を投げかけることは逆に混乱しないかと思う。
- 情報の提供の仕方次第では逆に混乱する可能性がある。情報公開するとしても、決定したものではない訳で、表現の仕方色々あろう。協議会で一定のまとめをした以上、右か左かという広報の仕方はどうか？
- 合意事項、要望事項を色々な意見を並べても仕方ないし、方向性を示せばいい。
- 「中間のまとめ」はまとめとしては良くできていた。
- 具体的な方向性か何かを示せばどうかと思う。
- (事務局発言) 前回の協議会で少年運動場・遊び場への移設が望ましいとまとまったが。
- その辺の表現が良いところか。
- (事務局発言) 今回の意見を踏まえて、次回、まとめとして示したい。
- 西浮間小学校と少年運動場・遊び場の関わりを示した方がいいか。
- 「要望とするために」7については、各自治会長には話をして理解を得たが、区の方から説明をして欲しい。そのほか各地域のPTAの会にも経過報告をして欲しい。もれ聞いているという段階では仕方ない。西浮間小学校は当事者だが、浮間小学校・浮間中学校のPTAにも理解を得たい。
- 西浮間小学校は、移設・建て替えということで進めるということか。
- 協議会ではその方向だったが、浮間全体の位置づけとして町会長会でも了解した。
- (事務局発言) 教育委員会としては、地元の意向を何とか行政計画に載せたいと考えている。
- 協議会だよりでは、浮間全体の問題として、西浮間小の問題だけではなく、浮間地区全体がよくなるよと。
- 全体の説明会などの段階を踏まないと。浮間全体の総意としないといけない。
- 先日、PTAの会合があったが、協議会だよりの存在が知られていない。もれ聞いているという程度。
- それではいけない。浮間地区全体の認識にしないと。
- 今までは仮の話だったが、これからはどうしたら良くなっていくだろうという話になる。

- 「要望とするために」9に対応が遅いという話だが、拙速でもまずい、慎重すぎてもまずい。この意見も分かるが、それを頭に入れたうえで、それが苦しいところだが…
- (事務局発言) (「浮間少年運動場に西浮間小学校を設置するにあたっての課題」説明) 大きな課題としては3点にまとめられる、1)近隣への課題 2)通学区域・通学路・通学時間 3)少年運動場利用団体 について。現校地の跡地利用については、移転のための課題だろうか、課題ととらえると越えられないハードルになりはしないか。跡地については、売却も視野に入れた利活用を念頭に置かないと新しい学校づくりは難しいと考えている。基本構想・基本計画・設計に関わることについては、検討委員会のようなものを設置すべきかと考える。(配付資料についての説明) 聖籠中学校の事例だが、こういった学校であって欲しいという理念、これらを地域で話し合っまとめている。西浮間小学校の移設の方向付けがなされれば、どういった学校を目指すのかをこの協議会で考えて頂ければと思う。これからの学校施設の建設は、インテリジェント(情報化)・エコ(環境への配慮)・バリアフリー・地域への開放、これに加えて安全確保。これらは、一定の方向をまとめたうえで相談したいと思い、資料を用意した。
- 西浮間小学校移設にあたっての問題点、超えるべき課題についてだが、この協議会では荷がきついかも知れない、検討委員会などで人員を増やすなどして対応しなければならない。話が進む中では問題が出てくるのは避けられない。
- あるところに何かつくと、必ず何か反対が起こる。5丁目の保育園・特別養護老人ホームでも反対が起こっている。学校だからよいとなるかは分からない。
- (事務局発言) 現在の利用団体は暫定利用ということは認識しているということだが…
- 実績ができると…利用者の気分を和らげるにはどうしたらいいかを考えないと。
- 噂では、都営住宅ができるとか聞いたことがある。
- (事務局発言) 西浮間小学校では何か話はあるか。
- 今まで1年半の話の中で初めて答を頂いたと受け止めている。今まで仮の話だったので全く外には話をしていない。
- 新しい校舎の構想までこの協議会で扱うのか。我々の感覚とは違うところがある。話をするのは専門的で難しいのでは。
- (事務局発言) その辺については、具体的には検討委員会をつくる必要があるかと思う。協議会としては、浮間地区全体として西浮間小を移設することが望ましいとのまとめになるだろうが、望ましいだけでなく、地域全体としてこういう学校を目指したいというものが出せればいいかと思う。浮間地区のほぼ真ん中であり、浮間小との連絡、地域の人が行きやすい、などのものがあれば理解を得やすいかと思う。
- PTAの立場では、魅力ある学校づくりというものがあると、理解が得られるが。
- ハード・ソフトの面では、ソフトは先生にお任せするが、ハードは安全な施設を造ってほしい。
- 土地が四角形なので、機能性の高い建物ができるのではないか。
- 「構想10年」では何だから早くして頂きたい。
- (事務局発言) 基本設計1年、実施設計1年、建築工事2年の4年をみている。
- 4年もかかるのか。

- 役所の事情を知らないと、いつ話がまとまるのかと歯がゆくなるだろう。協議会としてまとめを早めたい。
- 区長の施政方針の中で「教育施設のあり方についての指針」を示すとしているが。
- (事務局発言) 次回、検討会のまとめの概要版を示す。
- 校舎の問題は、3年前から言ってきた。スピーディーに効率よく動いてもらいたい。
- (事務局発言) 4年を3年に短くするのは大変。校舎の設計もどう学校を建てようかと相談して進める。建築工事にはどうしても20箇月はかかる。
- 検討委員会と基本設計を同時進行するなど、完成が早まるようにして頂きたい。

浮間地区教育環境整備協議会(第7回)

■平成16年12月3日

■浮間区民センター

■次第■

1. あいさつ
2. 第6回協議会のまとめ
3. 西浮間小学校に係る経過
4. 協議会最終のまとめ(案)について
5. その他

■発言要旨■

- (事務局発言) (前回のまとめ)(経過説明)
- 西浮間小の問題が多いが、町会自治会長には区から説明を行い、区長には浮間地区の町会自治会長連名の書類を出した。西浮間小PTA説明会や、近隣説明会を開催してきた。情報が遅いという意見もあったが、ほぼ友好的な流れである。
- (事務局発言) 検討報告書(案)について、昨年度末に中間のまとめをまとめたが、全体のまとめとなるものである。1. 協議会方針の(1)について、中間のまとめを踏まえているが、西浮間小の現地改築から移転となったので、変更してある。(3)について、施設の偏在については、西浮間小の移転にともない、その点は省いてある。4. 課題への取り組み(3)について、区道については具体的に利用者が少ないと示すことができる。5. 今後に向けてでは、西浮間小PTAを中心に、地域の声を交えて策定していきたい。
- 1. 2. 3. については、大きな問題はないので、原案のとおりでよろしいか。
- (事務局発言) 本日配付してすぐにご意見というのも難しいと思うので、何かあったら事務局へ連絡を。

- 4. 課題への取り組みについては、今ある道がなくなるということをどう判断するのは難しいが、現況としてはこういう数であるということ。5. 今後に向けてについては、建設に向けてPTAによるPTについて、もう一度説明をお願いしたい。
- (事務局発言) 西浮間小PTAによるPTで、どういった学校づくりを目指すのか、基本設計の基盤となる基本構想・基本計画の骨格を作っていく。折々に町会・自治会や周辺住民の意見・要望をお聞きし、PTAのみではないものを作っていきたい。現在、王子中と桜田中の統合において同様の検討会をしているところである。
- 老人保健施設が好意的であることでほっとした。グループホームは利用始めて2~3か月くらいで地域にまだ慣れていないのではないか。これから西側地域の住民の意見が出てくるのではないか。道路の問題はそれ程支障ないだろう。通学距離の問題もそれ程ではないだろう。話を進めれば納得いただける程度と感じた。よく出来ているので心配がなくなったと感じる。
- 後は気を緩めないで丁寧にやることが大切だろう。
- 区道廃止は区の行政上の問題と思うが、担当の意見はどうか。
- (事務局発言) 建設管理課が廃止条例を上程することになるが、埋まっているのは運動場利用者用の上下水道管で、支障はないということだった。
- 運動場利用団体は、野球とサッカーがあるが、どうか。
- (事務局発言) 野球2団体、サッカー1団体であり、野球の1団体がすべて調整をつけるとのことだった。しばらく時間を置いて連絡したい。
- 水再生センター屋上のサッカー場も大きくなるはず。
- うまくいくと思うし、いってもらいたい。民家が迫っているわけでもなく、条件もいい。
- (事務局発言) 基本設計に向けて、そのベースになるのが基本計画ととらえている。施設だけではなく、教育の内容・施設のあり方も考えなくてはならない。地域が管理できるゾーンと、学校が管理できるゾーンをはっきりさせて、学校を地域が利用するのではなく、月曜から金曜は学校施設、土日や夜間は区民施設であるという考え方が必要になろう。基本構想・基本計画については、今後小学校のPTで検討委員会にあたるものを作っていこうとしているところ。
- オープン型教室については、子どもの声がうるさいのではないかとと思われるかもしれないが、子どもはすぐ適応する。かえって先生のほうが慣れないくらいで、教員の意識改革が必要。
- (事務局発言) 報告書の案文についてご意見があれば、年内にも事務局へいただきたい。報告の最終ページには委員の名前を掲載するのでご了解願いたい。

浮間地区教育環境整備協議会(第8回)

■平成16年2月17日

■浮間区民センター

■次第■

1. あいさつ
2. 第7回協議会のまとめ
3. 西浮間小学校 改築基本構想・基本計画(案)
4. その他

■発言要旨■

- 8回の回数を重ねておおよその方向性が出た。委員の皆さんには感謝したい。今回が最後となるので、よろしく願いしたい。
- (事務局発言) (前回のまとめ)
- 西浮間小の移転については、近隣説明会や、町会・自治会長連名の陳情を行うなど、順序を踏んできている。周辺住民からも好意的に受け取られているようである。これも皆さんのおかげ。これからも一方的にならないよう進めて行きたい。次に、西浮間小学校基本構想・基本計画について。
- (事務局発言) (西浮間小学校基本構想・基本計画案 資料説明)
- 考え方は北区全体の見本となるのか。
- (事務局発言) 北区でも学校施設のあり方を検討しているので、その点は踏まえている。西浮間小だけが特別にという訳にはいかないが、思いは取り込んでいきたい。これから学校を作っていくので、変わっていくところもあるが、地域の意見が反映されるよう努めたい。
- これはオープンスペース型というのか。
- (事務局発言) 教室とオープンスペースが仕切られていないオープンスペース型になる。
- 先生にとってはどうなのか。
- 学級ではなく学年で進んでいかないとオープンスペースの活用ができない。教材なども各学級が同じく進めないといけない。子どもにとって違和感はない。先生、特に年齢のいつている方はきついかもしれない。
- この内容が全部入りきるのかという気もするが。
- それは予算とスペースの都合になる。
- あとは検討委員会のとりまとめを待ちたい。
- 今度学校見学も行う。頭の中で考えるだけよりも良く分かると思う。
- 開放は、学校にとっては迷惑にならないか。
- 地域の方にとって、校庭・体育館以外に音楽室や図書館の開放が必要なのかどうか。
- セキュリティの問題では、セキュリティを解除する人が来なければいけない。
- 管理と開放の兼ね合いが難しい。

- 地方の学校では、会議室や畳の部屋などで夜の会合を行うところがある。都会では管理やセキュリティの問題があり、昼でも自由に出入りできない状況である。会合利用は難しいのではないか。
- 地域開放をどうとらえていくかの問題。
- 新しい場所は区民センターも近く、学校にはなかなか入りづらいのではないか。
- 町会事務所にも集会室はある。
- 台東区の例では、地域コミュニティに開放している。コミュニティ委員が中心になって自主運営・自主管理している。学校とは出入り口は別だし、警備も入っている。体育館・ランチルームなどを開放している。あくまでも登録団体が使えるという感じ。昼は子どもが、夜は地域が使っているという感じ。これからやり方を作っていかなければならない。
- 地域開放ゾーンという考え方や、時間を区切って昼間は学校、夜は地域という考え方になる。
- (事務局発言) これから生涯学習が盛んになるであろう。今の学校の管理形態ではなく、これからはゾーン分けして、学校の管理が大変にならないようにやっていこうと考えている。
- 校庭も重要な設備であるが、記述が少くないか。校庭はどのように確保するのか。
- (事務局発言) 新しい場所は変形ではない。今よりも広さを確保できるだろうとみている。トラックとしては120メートルのものが取れるだろう。設計では十分に配慮したい。北区でも大きな規模の学校となるので、充分ではないかもしれないが、配慮していかななくてはならない。
- この要件を満たすために、プロポーザルになるのか。
- (事務局発言) 提案型のものにはなるだろうと想定している。色々のご意見はあると思うので、委員の皆さんからもご意見を今月いっぱいにもいただければ、反映していきたい。
- この協議会では西浮間小のみではなく、浮間全体のことを検討してきたが、今回で最後になろう。意見があったらぜひ事務局へお願いしたい。
- 浮間小としてはうらやましい限りであり、とても気になるところ。冷暖房設備、特に冷房のことはエコロジーの点ではどうか。
- (事務局発言) 冷房については、北区として環境負荷のことを考えても入れていこうという方向であり、中学校と保育園の低年齢クラスを先行させる考えである。二酸化炭素排出量は考えなければいけないと環境担当からは言われている。
- 見学を行い、見ることにより発想が現実的になると思う。
- 西浮間小が移転した跡地は、水再生センターの屋上利用と合わせて、現在の体育館も利用してはどうかと思うし、関心がある。浮間地区は公共施設が少ない。浮間地区の中央に立派な図書館があるといい。
- その点はこの会のはじめにも公共施設の偏在などで出ていた。水再生センターの2期工事も始まったところだ。
- (事務局発言) 報告書(案)には工夫・改善を行うとしている。跡地については今の段階で何もない。体育館については、新しい体育館を利用しやすく作る、より使い勝手の良いものになると理解していただきたい。